



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより
学校教育目標
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

12月号
令和元年12月3日
編集 校長 岡こすえ

www.iino.m-alps.ed.jp/ 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載しています

新体制が動き始めました。行動でみせてほしい「飯野の本気！」

今年も残すところあと1か月。白根飯野小学校の児童は、普段の授業や児童会活動、学校行事などをおして、心豊かにたくましく成長しています。

さて、先週の金曜日に児童会役員立会演説会並びに役員選挙が行われました。各立候補者はもちろんのこと、候補者を支える責任者や選挙管理委員がそれぞれの役割をきちんと果たし、皆立派な態度でとても感心しました。

結果にかかわらず立候補した皆さんは、クラスの仲間、担任の先生や家族など多くの人に支えられたことを忘れずに、今まで以上に自分の行動に責任を持ち、今後の学校生活を送ってほしいと思います。また、このことは立候補者に限ったことではありません。下級生は、上級生を見ています。良いことも悪いことも真似をします。白根飯野小学校の児童であることを自覚し、弱い立場の人を大切に、思いやりの行動を心がけてほしいと思います。

私自身も、「学校のリーダーとして、自分はどうかだろうか。」と自問自答してみると、学校全体を俯瞰し、優先順位をつけて取り組む**決断力**をもつことが真っ先に思い浮かびました。しかし、まだできていないことも整理することができました。

担任の先生方は、常に児童と向き合ってくれています。授業や下校指導以外の業務も誠実に行っています。本当にありがたいことだと思います。多くの校務分掌や地域学習・社会科見学や出前授業の打ち合わせ等の対外的な業務、各種アンケート調査の回答、出張、会議・研修…と、新聞・TV等の報道にもあるように毎日真面目に校務をこなしています。それが教員の仕事と言ってしまうかもしれませんが、私はリーダーとして組織の一人一人のモチベーションを上げ、力を発揮できる環境を整えることを頑張っていきたいと改めて思う機会ともなりました。

新役員の皆さんも白根飯野小学校のために児童目線の代表者として頑張ってください。



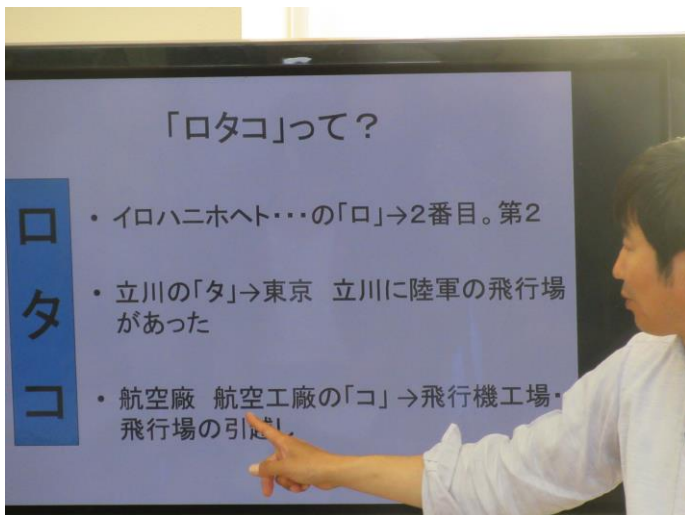
☆11.16(土) 第17回南アルプス市小学生ホッケー交流大会(5年生) 白根中央公園

「飯野にあった戦争の話」(6年生総合的な学習の時間)から

本校は明治8年、飯野村の昌庵院を仮校舎として開校した140年以上の長い歴史のある学校です。大正4年には高等科を併設し、飯野尋常高等小学校と改称しました。このことは、学校ホームページの中でも紹介させていただいていますが、実は戦時中に校舎が陸軍に接收されたという事実をご存知でしょうか。

当時の高等科の男子は木工所、女子は製糸工場に勤労働員され、学校で勉強する機会を奪われてしまいました。困った子どもたちのために、木のミカン箱を持ち寄って飯野1区にある曹洞宗「常楽寺」で勉強したこともあったそうです。また、飯野地区には幅100m、長さ1,500mの飛行場の滑走路の一部が今も農道として利用されていますが、冬に吹き降ろす「八ヶ岳おろし」に向かったの工事は相当困難であったことが想像できます。その証拠に、飯丘地区にある日蓮宗福王寺の過去帳には、ロタコ工事で亡くなった朝鮮半島出身者の名前が残っているなど史実を裏付けるものも数多く残されています。

本校の学校教育目標「郷土を愛し、たくましくいきぬく子ども」に迫るためには、郷土をよく知ることが大切です。学校の敷地内にある「学徒動員の碑」巨摩保育所南側で、白根巨摩中学校体育館北側にある「戦没慰霊者の碑」など、普段はあまり気に留めることもないかもしれませんが、自分が通う学校や地域の歴史に思いを馳せることはとても大切なことだと思います。幸い、南アルプス市教育委員会のバックアップもあり、文化財課副主幹：齋藤秀樹さんに講師として何度も学校に来ていただき、詳しいお話を伺う機会を得ることができました。また、校区にある戦争遺跡を巡りながら飯野地区在住：飯野長重さん、飯野新田(築山)地区在住：市川良一さんから当時の話を伺うことができたのも大変貴重な巡りあわせだと思います。「飯野にあった戦争の話」の学習はこれからも続きます。最高学年としての郷土学習の集大成を今後も注目していきたいと思っています。



☆南アルプス市文化財課副主幹：齋藤秀樹さん

☆飯野長重さん、市川良一さんから現地でお話を聴く6年生

「ロタコ」は、今から60年あまり前、アジア太平洋戦争末期、米軍の空襲などから軍事施設を守るための分散疎開や、日本の本土防衛が検討される中で旧日本陸軍によって建設が計画された飛行場や横穴壕をはじめとする施設群の総称。

旧陸軍の記録には秘密飛行場として「御勅使河原飛行場」の名で記載され、その名称は「第2立川航空廠(こうくうしょう)」を示す暗号名ともいわれている。当時はこの工事のことを示す「ロタコ」という呼び方が地域の人々に広く浸透していた。